



京都 在宅医療

検索

詳細は順次、京都医報、当センターホームページでご案内いたします。

京都在宅医療塾Ⅱ ～実践編～

対象：医師

第6回

高齢者のスキントラブルあれこれ
～皮膚・爪のトラブルから褥瘡のケアまで～

【と き】2019年2月20日(水) 14:30～16:30
【ところ】京都府医師会館5階 京都府医療トレーニングセンター
【講 師】洛和会音羽リハビリテーション病院
在宅医療支援センター センター長 谷口 洋貴氏
京都民医連中央病院
皮膚排泄ケア認定看護師 布留川 美帆子氏

かかりつけ医認知症対応力向上研修(集合研修)

対象：医師、多職種

南部会場

【と き】2019年2月23日(土) 14:00～17:30
【ところ】京都府医師会館3階 310会議室
【講 師】北山病院 院長 澤田 親男氏
京都府立医科大学附属病院 精神科・心療内科
京都府立医科大学大学院 精神機能病態学
併任講師 柴田 敬祐氏

かかりつけ医認知症対応力向上地域連携研修

対象：医師、多職種

船井・亀岡市医師会開催

【と き】2019年3月2日(土) 14:00～17:30
【ところ】京都中部総合医療センター 5階 講堂(南丹市)
【講 師】亀岡シズ病院 メンタルヘルス科 医長 島田 稔氏
亀岡病院 神経内科 部長 森 信人氏
京都中部総合医療センター 内科・総合内科
統括部長・内科部長・在宅医療センター 医長 佐藤 克明氏

認知症サポート医フォローアップ研修

南部会場

対象：医師

【と き】2019年3月9日(土) 16:30～19:30
【ところ】京都府医師会館3階 310会議室
【講 師】高知大学医学部 神経精神科学講座 教授 數井 裕光氏

北部会場

対象：医師、多職種

【と き】2019年3月23日(土) 14:00～17:00
【ところ】ホテル北野屋(宮津市)
【講 師】京都大学医学部附属病院 緩和医療科
京都大学大学院医学研究科人間科学系専攻
准教授 谷向 仁氏

2018年10月6日(土)開催予定が、台風25号の影響で中止となったため、左記の日程で開催いたします。

主治医研修 南部会場

「脳卒中サイバーの待ち受けるもの、踏み越えるべきもの」
「話す・食べるを知る」

対象：医師、多職種

【と き】2019年2月2日(土) 14:30～17:30
【ところ】京田辺市商工会館 CIKビル
【講 師】京都桂病院 脳神経外科 部長代行 富井 康宏氏
京都桂病院 リハビリテーション科
言語聴覚士主任 久保 陽介氏

生活機能向上研修 排泄支援 Part

対象：医師、看護師、医療介護福祉関係職種など

排尿支援のイロハ

【と き】2019年2月9日(土) 14:30～17:30
【ところ】京都府医師会2階 211.212.213会議室
【講 師】泌尿器科上田クリニック 院長 上田 朋宏氏
井上医院 院長 井上 亘氏
快適な排尿を目指す全国ネットの会 理事 山口 昌子氏
快適な排尿を目指す全国ネットの会 理事 田中 悦子氏
回生会 京都回生病院 看護部主任 白沙 芙美子氏
(株)はいせつ総合研究所むつき庵 平田 亮子氏
(株)はいせつ総合研究所むつき庵 大坪 麻理氏

認知症対応向上多職種協働研修(アドバンス研修)

対象：医師、多職種

中京西部・中京東部会場
【と き】2019年2月16日(土) 14:00～17:00
【ところ】和牛登録会館
【講 師】神戸市立医療センター西市民病院 脳神経内科学部長
(認知症疾患医療センター長兼務) 木原 武士氏

京都在宅医療塾Ⅰ ～探究編～

対象：医師、看護師

第5回

心不全の緩和ケア

【と き】2019年2月17日(日) 10:00～13:00
【ところ】京都府医師会館3階 310会議室
【講 師】東京ふれあい医療生活協同組合 副理事長
梶原診療所 所長 オレンジほっとクリニック
地域連携型認知症疾患医療センター長 平原 佐斗司氏

在宅医療に関する質問があればお問い合わせください。サポートセンターと保険医療課で連携し回答いたします。

お問い合わせ、ご意見及びご感想は

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階
tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケア サポートセンター news

Vol. 27

2018年1月15日

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター news は奇数月15日の発行です。
※当センターホームページにてバックナンバーがお読みいただけます。

Main menu

- ◆平成30年度 第3・4回総合診療力向上講座 開催報告(P.2)
- ◆平成30年度 京都府医師会 上映会「四万十-いのちの仕舞い-」のお知らせ(P.2)
- ◆平成30年度 第3回京都在宅医療塾Ⅰ～探究編～開催報告(P.3) ◆<在宅医療あれこれ>(P.3)
- ◆平成30年度 研修会予定のご案内(P.4)

平成30年度 第3・4回京都在宅医療塾Ⅱ～実践編～ 開催報告



井上医院 院長
井上 亘氏



前田クリニック 院長
前田 康秀氏



洛和会音羽リハビリテーション病院
在宅医療支援センター センター長
谷口 洋貴氏



訪問看護認定看護師
松久保 真美氏

第3回(10月18日(木))、第4回(11月21日(水))の平成30年度京都在宅医療塾Ⅱ～実践編～を京都府医師会館5階・京都府医療トレーニングセンターにて開催し、医師51名(第3回24名、第4回27名)にご参加いただきました。

今回は、「在宅医療における尿路管理」をテーマとして、洛和会音羽リハビリテーション病院在宅医療支援センター センター長 谷口 洋貴氏より、在宅患者の三大感染症の一つである「尿路感染症 UTI」について、ご講演いただきました。

また、専門医の立場から井上医院 院長 井上 亘氏、前田クリニック 院長 前田 康秀氏より、「在宅における尿路管理の

コツ」として、①在宅での尿道カテーテル管理②尿路評価と薬物治療③泌尿器保険請求の注意点—などをご講演いただくとともに、デモンストレーションとして、バルンカテーテルの挿入のコツとトラブル対応を具体的に説明いただきました。

デモンストレーションでは、手技の具体的な質問や膀胱洗浄などについて参加者より活発に質問があり、活気のある研修会となりました。

バルン管理の必要な在宅療養者も増加しており、在宅医療の実践に生かせる内容であったと参加者より感想をいただきました。



質疑応答の様子



デモの様子



デモの様子

■ 平成30年度 第3・4回総合診療力向上講座 開催報告



松尾クリニック 理事長
松尾血管超音波研究室 室長
松尾 汎氏



拠点会場の様子

【第3回】

11月10日(土)、京都府医師会館にて、「むくみの診方—どう診て、どう治す?—」と題し医療法人松尾クリニック理事長 松尾 汎氏にご講演いただき、188名(うち、北部会場19名・南部会場10名)の先生方が受講されました。

普段、高齢患者を診療するうえでよく見かける浮腫の鑑別診

断と原因からみた対策について、多くの写真を提示してご説明いただきました。下肢静脈瘤・静脈血栓症(VTE)の予防・治療、深部静脈血栓症(DVT)の超音波による評価やガイドラインの紹介、リンパ浮腫の診断・治療の現状についてもご解説いただきました。

● 受講者の声 ● (受講後アンケートより抜粋)

● VTEの診断・予防・治療等、今後の診療に大変役立つ話が聞けた。大変有意義だった。

● 浮腫は日常みることが多く、とても勉強になりました。
● 他科の者ですが、解剖学的説明と併せて多くのエコー動画・動画の御供覧をいただき、勉強になりました。ありがとうございました。

【第4回】

12月8日(土)、京都府医師会館にて、「患者の倦怠感、医療従事者の疲労～不定愁訴：倦怠感をどのように鑑別すべきか～」と題し、洛和会丸太町病院救急・総合診療科部長 上田 剛士氏にご講演いただき、182名(うち、北部会場17名・南部会場11名)の先生方が受講されました。

講演では、「だるい・しんどい」に対して、眠気と疲労を区別する質問から、眠気患者へのアプローチとして日中傾眠の鑑別を睡眠時間やリズム・質の問題から薬物の影響、内科的疾患、心的要因、重度な日中傾眠までを系統的に解説され、その後、事例をもとに倦怠感を来す疾患の鑑別診断について、様々なエビデンスをもとに説明いただきました。

さらに、医師の燃え尽き症候群についても、勤務医と開業医



活発に質疑応答が行われました。



洛和会丸太町病院
救急・総合診療科 部長
上田 剛士氏

それぞれに労働環境など海外のデータと比較し医師が大変な理由や疲弊する理由とその解決方法を提案いただくとともに、「Alert fatigue」と呼ばれるモニター機器に対する医療従事者の疲労とその改善方法についてご講演いただきました。

● 受講者の声 ● (受講後アンケートより抜粋)

● 現場で求められていることを題材にしてくれているので良いと思います。さすがの内容でした！
● 開業医の大変さに触れてくれているのが良かった。

● テーマから想定した内容とは違ったのだが、むしろそのおかげで知識が広がった。
● 倦怠感への介入の仕方がよく分かった。川島先生の“CFS”への質問も印象に残った。

府民公開講座「四万十～いのちの仕舞い」上映会

【と き】2019年3月21日(木・祝)13:30～16:00

【と ころ】京都府医師会館3階 310会議室

【対 象】京都府民の方

【内 容】小笠原 望先生ビデオメッセージ、「四万十～いのちの仕舞い～」本編上映、溝淵監督 舞台挨拶

【定 員】300名(先着順)

入場無料
申込不要

■ 平成30年度 第3回京都在宅医療塾 I～探究編～ 開催報告



早期緩和ケア大津秀一クリニック
院長 大津 秀一氏

11月25日(日)、早期緩和ケア大津秀一クリニック 院長 大津 秀一氏を講師に迎え「がん患者の緩和薬選び」と題し、研修会を開催。医師105名、看護師85名が参加されました。

まず、緩和医療の定義と役割そして患者・医療者にも医療麻

薬に対する誤解があり、正しい知識と患者への丁寧な説明が必要であること、がんの痛みの性状と分類からオピオイドの得意・不得意も含め、がんの痛みになぜ鎮痛薬を併用する必要があるのかについて、わかりやすく解説いただきました。

さらに、臨床で緩和医療を開始するための具体的な進め方について、WHOの三段階がん疼痛除痛ラダーをもとに、非オピオイド鎮痛薬・弱オピオイド・強オピオイドの処方例を提示し、説明いただきました。特にオピオイド治療開始時に必要な配慮として、副作用の対策とレスキューの設定が重要であること、また治療評価をするためには痛みを分析し、やみくもに定用量を増量するのではなく、痛みについて詳しく聞いたうえで、突出痛や内臓痛、体性痛(骨転移痛など)への対応を行うことが必要であるとし、治療方法など具体的にご講演いただきました。

昨年9月より地域ケア委員会の委員長を務めさせていただいている伏見医師会の西俊希と申します。今回はこの紙面をお借りして地域ケア委員会の紹介をさせていただきます。当委員会は地域医療に関する様々な課題について議論する委員会です。今年度の会長諮問事項は『地域包括ケアシステムのあり姿進むべき道』です。これに対する答申を約2年間かけて作成します。各地区医師会の代表と歯科医、訪問看護師、薬剤師、ケアマネジャー、栄養士各団体の代表及び担当理事、担当副会長で構成されています。毎回テーマを決めて議論したり外部から講師を招いて講演していただいたりしております。

特に今年度は地域医療に関する本音の部分を引き出せるように工夫をしています。訪問診療のヒヤリハット、訪問診療の質、訪問診療医のワークライフバランス等のテーマを挙げ毎回つっこんだ議論を展開しております。この中で各委員の思いを集約し

たと言っても過言ではない発言を一つご紹介させていただきます。

訪問診療の質をテーマに議論していたときのことです。「さいごまで自宅で診てくれるいいお医者さん」というタイトルで発売された雑誌で、国が公表している在宅療養支援診療所からの報告を基に、看取り件数11件以上の京都府の診療所のリストが資料として提示されました。この資料について委員より、「あくまで在宅看取りに対応している医療機関リストであって、いい在宅医かどうかを評価するものではない。普段は外来診療中心であるが、自院の患者は最期まで診るといふ医師が中には挙がってこないことが問題。そういった医師が評価される方法でなければならない。」という発言がありました。団塊世代が75歳を迎える2025年を目前に控える一人でも多くの先生方に在宅医療に携わっていただけるような提言ができるようさらなる努力をしていきたいと考えております。

在宅医療 あれこれ

— vol.5 —

地域ケア委員会のご紹介



西 俊希氏

地域ケア委員会 委員長
西医院 院長